



Preparing for absence of tomorrow

あすの不在に備えて

中尾美園

個展

Midako Mien

2018

10 / 6 [土]

10 / 21 [日]

12:00 - 17:00

土日祝は 19:00 まで

木曜日および 10 / 15 [月] 休廊



GALLERY
SUUJIN

あすの不在に備えて

博物館で古い遺物を見たり、浜辺でガラスや陶器の欠片を拾ったりするとき、それらが作られてから今に至るまでの長い時間を想像することがあります。かつては人々の暮らしを彩り、慰め、寄り添っていたのでしょうか。

現在暮らしの中にあるものも、将来どのような経過をたどり変化していくのでしょうか。私は暮らしの中にあつたものを集め、それらを絵にしていますが、たいていは貴重とされておらず、近い将来捨て去られる可能性が高いものばかりです。中には現時点で、実体はすでに失われ、絵だけでしかその姿がわからないものもあります。暮らしの中にあつたものは綺麗なもののばかりではありませんが、絵になることで、漫然していたものが整理され、よそ行きの服をまとうように、ごく私的なものが公共性を持ちはじめます。

しかし描かれた絵も、この先の変化は決して避けられません。未来に起こることは制御できませんが、ある程度の備えはできるはずです。残されたものが貴重で本当に価値のあるものかはわかりません。偶然か必然か、時々訪れる取捨選択を経て残されたものに少しばかり敬意を寄せつつ、本展では私がおこなった備えと、避けられないことについて展示いたします。

Prenative. For a future of tomorrow



「花嫁の未来」飛鳥アートヴィレッジ 2015「明日香の匠展」奈良県立万葉文化館
撮影：三國賢一



「遠い未来 近い将来」Assembledge NAGOYA 2016
現代美術展「パノラマ庭園 一動的生態系にするすー」
撮影：怡土鉄夫
写真提供：アッセンブリッジ・ナゴヤ実行委員会



京都市立芸術大学移転整備ブレ事業《教室のフィロソフィー》第5弾
中尾美園 個展「あすの不在に備えて」展覧会情報

http://www.kcuu.ac.jp/event/20181006_nakaomien/

作家プロフィール

中尾 美園 [NAKAO Mien]

略歴

2006 年 京都市立芸術大学大学院 美術研究科保存修復専攻 修了

主な展覧会

2008 年 京展（館長奨励賞／'09 須田賞・芝田記念賞）京都市美術館

2013 年 個展「いつかの庭」KUNST ARZT（京都）

シェル美術賞（入選）国立新美術館（東京）

2015 年 アーティスト・イン・レジデンス「飛鳥アートヴィレッジ 2014」国営飛鳥歴史公園（奈良）

個展「図譜」Gallery PARC（京都）

2016 年 飛鳥アートヴィレッジ 2015「明日香の匠展」県立万葉文化館（奈良）

Assembledge NAGOYA 2016 現代美術展「パノラマ庭園 一動的生態系にするすー」

ボタンギャラリー（愛知）

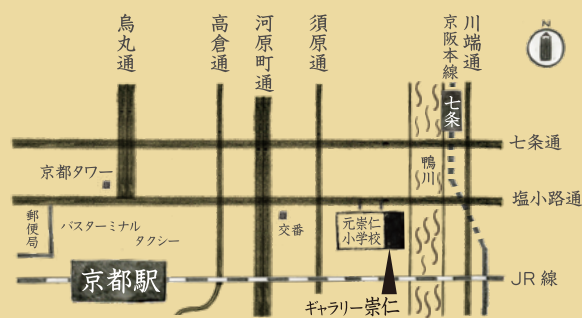
2018 年 個展「紅白のハグレ」ギャラリー揺（京都）

絵画や古文書の修復を行う表具屋にて補彩を担当、東洋絵画模写や仏画・水墨画の受注制作のほか、美術作家としても活動している。Blog → <http://zuichou.exblog.jp/>

小学校の職員室であった空間が
本学学生の設計・デザインにより
ギャラリーに生まれ変わりました。



京都市立芸術大学では、この新たな展示空間「ギャラリー崇仁」において、移転整備ブレ事業として、若手作家を支援するためのプロジェクト「教室のフィロソフィー」を実施しています。このプロジェクトでは京都市立芸術大学を卒業、あるいは大学院を修了した若手作家を、小学校解体までの2年間、連続して紹介していきます。絵画、彫刻、デザイン、工芸等様々な専攻で学び、新たな表現を生み出そうと苦闘している作家たちが生み出した作品群からは、現代の新しいアートの息吹を感じていただけると思います。



ギャラリー 崇仁 元崇仁小学校内 京都市下京区川端町16

JR 京都駅中央口より徒歩 9 分
地下鉄烏丸線京都駅ポルタ A3 出口より徒歩 7 分
京阪七条駅 1 番出口より徒歩 6 分
※お車でのご来場はご遠慮ください。